

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2021年			
6月	14日(月)～16日(水) 第45回基礎化学工学演習講座(第1クール)	オンライン	本号
	24日(木)～25日(金) 第26回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	埼玉・オンライン	本号
7月	1日(木)～2日(金) 第45回基礎化学工学演習講座(第2クール)	オンライン	本号
8月	11日(水)～12日(木) Water and Environment Technology Conference Online 2021 (WET2021-online)	オンライン	本号
	2(月), 3日(火), 6日(金), 18日(水)～20日(金), 23日(月), 25日(水), 27日(金) 第45回基礎化学工学演習講座(第3クール)	オンライン	本号
9月	14日(火)～15日(水) 第24回日本水環境学会シンポジウム	オンライン	本号
10月	17日(日)～21日(木) 9th IWA-ASPIRE Conference & Exhibition 2021 2023年に延期	高雄(台湾)	
2022年			
3月	16日(水)～18日(金) 第56回日本水環境学会年会	富山	
9月	11日(日)～15日(木) IWA World Water Congress & Exhibition 2022	コペンハーゲン	本号

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎(4月→3月)の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

日本水環境学会主催の国際会議”Water and Environment Technology Conference”をオンラインにて開催致します。会議での発表に合わせて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

主 催 日本水環境学会

期 日 2021 年 8 月 11 日 (水) ～12 日 (木)

内 容 オンライン開催

発表申し込みは締め切りました。発表可と判断された場合、その通知を 7 月 1 日 (木) までにお送りします。なお、講演要旨集には要旨のみが掲載されます (提出された要旨にキーワードおよび図表が含まれていた場合、要旨集では削除されます)。

発表者は必ず参加申込をおこない、参加費を入金してください。7 月 8 日 (木) までに参加申込・入金がない場合には発表がキャンセルになります。

JWET への論文投稿は、発表受付メールに記載の方法に従って 2021 年 6 月 21 日 (月) までに Web 上で行ってください。投稿された論文は通常の査読が行われ、2021 年 8 月 31 日 (火) までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、WET2021-online の講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

WET2021-online の発表は、事前提出ポスターの WEB 掲載と当日のオンライン (Zoom) 発表で行います。事前提出ポスターの提出期限は 7 月 26 日 (月) を予定しており、作成および提出方法は”Notification of acceptance”および WET2021-online の web ページに記載予定です。当日のオンライン発表はショートプレゼンテーションと、数人ずつがブレイクアウトルームで質疑を受ける Q&A セッションで行います。詳細は WET2021-online の web ページに掲載予定です。

Excellent Paper Award を JWET へ論文投稿した発表者から選出し表彰します。Excellent Presentation Award は、事前にポスターファイルを提出し、当日、オンラインにて発表した発表者から選出します。

事前に参加申込をおこなって入金した方のみが参加できます。WET2021-online の web ページにて、2021 年 7 月 22 日 (木) 24:00 までに参加申込をおこない、7 月 29 日 (木) までに入金してください。

発表者も別途参加申込が必要で、参加申込・入金期限は 7 月 8 日 (木) です。

	Participant	Speaker
一般	5,000 JPY	5,000 JPY
学生	3,000 JPY	3,000 JPY

名義が異なる場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号：4948527

名義：公益社団法人日本水環境学会

名義カナ：シャ ニホンミズカンキョウガッカイ

郵便振替：00180-5-564127

加入者名：(公社) 日本水環境学会

WET 事務局

E-mail : wet@jswe.or.jp Fax : 03-3632-5352

第 24 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領でオンラインにて開催いたします。

各研究委員会主導のプログラムで実施されますが、多くの研究委員会で発表を公募しておりますので、積極的に発表申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、日本水環境学会 50 周年記念講演会等の本部企画、メタウォーター賞受賞者講演のほか、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介 (オルガノ) セッションなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

期 日：2021 年 9 月 14 日 (火) ～15 日 (水)

会 場：オンライン

内 容：日本水環境学会 50 周年記念講演会等の本部企画、各研究委員会等の主催によるセッション、若手研究紹介 (オルガノ) セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。

セッションを予定している研究委員会、セッション題目、公募の有無、連絡担当者は別表のとおりです。発表を希望される方は、直接、連絡担当者にお申し込みください。

申込期限：2021 年 6 月 28 日 (月) (必着)

応募資格：原則として本会会員に限ります。

非会員で発表希望の方は、連絡担当者にお問い合わせください。

注：「若手研究紹介 (オルガノ) セッション」が別表とは別に設定されますが、これについては、別項「2021

年度博士研究奨励賞候補者募集」を参照ください。

3. 原稿作成・投稿方法

原稿枚数：A4 版 1～2 枚（図表込み）とします。

原稿書式：書式・投稿方法は当学会ホームページをご参照ください。https://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo_youryou.pdf

提出期限：2021 年 8 月 16 日（月）（必着）

4. 発表形式

発表はシンポジウム形式を原則とし、1 演題 10～20 分としますが、運用の詳細は各研究委員会に一任されています。発表に必要なパソコンや通信環境については発表者が用意してください。

5. 参加申し込み

発表者も必ず参加申し込みをしてください。

2021 年度 博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集

応募対象者

本年 3 月末時点で 35 歳以下の本会会員のうち、博士後期課程大学院生、もしくは 2020 年 1 月 1 日以降に博士後期課程において学位（博士）取得した者で、第 24 回日本水環境学会シンポジウム（オンライン：2021 年 9 月 14～15 日）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象者となります。ただし、2020 年度以前に同賞を受賞された方は対象になりません。

応募方法

以下の書類を 2021 年 6 月 28 日（月）（締切厳守）までに、電子ファイルとして提出してください。

(1) 論文（A4 用紙 4 頁～6 頁）

博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集情報 <https://www.jswe.or.jp/awards/organo/index.html> に記載の「博士研究奨励賞（オルガノ賞）応募論文原稿執筆および発表要領」および「原稿書式」を参照してください（英文もあります）。論文は、博士後期課程における研究成果をまとめたものとしますが、原著論文でも、既発表の内容を含んだものでも構いません。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。この論文は一次選考においてのみ使用し、シンポジウム講演集には掲載しません。一次選考通過者には別途、講演集掲載用に A4 用紙 1 ページの要旨を提出していただきます。

(2) 関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願いいたします。

- 学術雑誌論文（水環境学会誌、Journal of Water and Environment Technology, Water Research など）については、応募者が第一著者のものとその他に分けて記載してください。また、当該論文の査読の有無を明記してください。
- 国際会議講演集（Proceedings など）については、

IWA 主催のものとそれ以外のものに分け、発表者を明記してください。

- 国内学会講演集については、本学会関連のものとそれ以外に分け、発表者を明記してください。

(3) 大学卒業以降の履歴書

(4) 本学会の会員番号

注) 応募までに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、一次選考を行います。一次選考の結果は、7 月末までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を行います。

一次選考を通過した方は、第 24 回水環境学会シンポジウムの若手研究紹介（オルガノ）セッション（9 月 14 日）にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査の結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は当日夕方にオンラインにて行います。一次選考通過者のシンポジウム参加費は免除されます。一次選考通過者の A4 用紙 1 ページの要旨の提出期限は通常のセッション要旨と同じです。

応募書類送付・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 シンポジウムオルガノセッション係

Tel：03-3632-5351 E-mail：kubota@jswe.or.jp

第 24 回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第 24 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領でオンラインにて開催いたします。

日本水環境学会 50 周年記念講演会、各研究委員会のセッション、メタウォーター賞受賞者講演、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッションなど、多彩な企画が用意されています。

非会員の方の参加も可能です。多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

1. 概 要

期 日：2021 年 9 月 14 日（火）～15 日（水）

会 場：オンライン

講演集形式：ダウンロード版および冊子版として提供します。冊子版不要の場合は参加費が減額されます。冊子版の講演集は開催後にお送りいたします。

2. 内 容：

日本水環境学会 50 周年記念講演会

～主要トピックから水環境 50 年の歴史を振り返る～
15 日（水）午後

第 24 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	開催 期日	公募	連 絡 先
環境省	講演会：環境技術実証事業で実証した水 質浄化等技術	14日 14:30～ 15:20	なし	木村ほのか（環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室） Tel：03-5521-8239 Fax：03-3593-7195 HONOKA_KIMURA@env.go.jp
嫌気性微生物処理	嫌気性技術の分野における課題解決に向 けた研究開発と現場での取組	15日 AM	有り	小林拓朗（国立環境研究所資源循環領域） Tel：029-850-2110 Fax：029-850-2560 kobayashi.takuro@nies.go.jp
MS 技術	環境汚染物質分析への MS 技術の応用	14日 AM	有り	松村千里（兵庫県環境研究センター） Tel：078-735-6911 Fax：078-735-7817 jswe-ms@ee-net.ne.jp, matsumura-c@hies-hyogo.jp
生物膜法	アジア地域などの環境再生保全のための SDGs を踏まえた技法展開の現状と展望	14日 PM	なし	稲森悠平（NPO 法人バイオエコ技術研究所） Tel：090-3203-4853 inamori@gmail.com
身近な生活環境	コロナを機に今、再び水環境を考えるー コロナがあぶり出したものー	15日 AM	有り	寺崎正紀（岩手大学人文社会科学部） Tel：019-621-6703 Fax：019-621-6822 terasaki@iwate-u.ac.jp
微生物生態と水環境工学	世界の「微生物生態と水環境工学研究」 へ	15日 AM	なし	堀 知行（産業技術総合研究所環境創生研究部門） Tel：029-849-1107（内線：222-41107） Fax：029-861-8392 hori-tomo@aist.go.jp
バイオアッセイによる安全性 評価	海産・汽水生物を用いたバイオアッセイ による安全性評価	14日 PM	なし	山本裕史（国立環境研究所） Tel：029-850-2754 Fax：029-850-2870 yamamoto.hiroshi@nies.go.jp
水中の健康関連微生物	下水疫学アプローチによる感染症流行モ ニタリングの最前線	15日 AM	有り	原本英司（山梨大学） Tel：055-220-8725 Fax：055-220-8592 eharamoto@yamanashi.ac.jp
湿地・沿岸域	流域から湿地・沿岸域の動態・保全・再 生と東京湾のいま	15日 AM	有り	山本浩一（山口大学） Tel：0836-85-9320 Fax：0836-85-9301 k_yama@yamaguchi-u.ac.jp
流域物質動態とノンポイント ソース	いま、改めて流域の物質動態を理解する ソース	14日 AM	有り	佐藤祐一（琵琶湖環境科学研究所） Tel：077-526-4044 Fax：077-526-4803 sato-y@lberi.jp
膜を利用した水処理技術	膜のリアリティー ～あの膜は今～	14日 PM	なし	大和信大（メタウォーター株式会社） Tel：052-856-1205 Fax：052-856-1405 yamato-nobuhiro@metawater.co.jp
紫外線を利用した水処理技術	紫外線水処理の可能性	15日 PM	有り	志賀淳一（メタウォーター株式会社） Tel：070-6593-7646 shiga-junichi@metawater.co.jp
産業排水の処理・回収技術	産業排水の処理・回収技術の最新動向	15日 AM	有り	小松和也（栗田工業（株）） Tel：0280-54-1538 Fax：0280-57-2633 k.komatsu51@kurita-water.com
電気化学的技術	環境エンジニアリングにおける電気化学 的技術	14日 PM	有り	小森正人（株式会社ヤマト大和環境技術研究所） Tel：027-290-1865 Fax：027-290-1897 Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
熱帯・亜熱帯地域水環境	熱帯亜熱帯地域の地域資源の利活用と水 環境	14日 PM	有り	宮城俊彦（元）沖縄県衛生環境研究所） Tel：090-9785-3051 miyagto571123@yahoo.co.jp
農産業に関わる水・バイオマ ス循環技術	次世代農業と水環境の関わりを考える	15日 AM	なし	赤尾聡史（同志社大学） Tel：0774-65-6578 sakao@mail.doshisha.ac.jp
将来の水環境変化に対応した 水供給システム	水源水質に応じた浄水処理技術と給配水 水質の管理	14日 PM	有り	滝沢 智（東京大学大学院工学系研究科） Tel：03-5841-5241 Fax：03-5841-8532 takizawa@env.t.u-tokyo.ac.jp
汽水域	陸から海へ：淡水・汽水・海水域の独自 性と共通性	14日 AM	なし	山室真澄（東京大学） Tel：04-7136-4770 Fax：04-7136-4756 yamamuro@edu.k.u-tokyo.ac.jp
地域水環境行政 ／共催：全国環境研協議会	地域からの発信～新しい水環境指標を考 える～	15日 AM	有り	見島伊織（埼玉県環境科学国際センター） Tel：0480-73-8353 Fax：0480-20-7031 mishima.iori@pref.saitama.lg.jp, mishima.pref@gmail.com
マイクロプラスチック	マイクロプラスチック研究の最新の知見	14日 PM	有り	大塚佳臣（東洋大学） Tel：049-239-1417 Fax：049-239-1417 y_otsuka@toyo.jp

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

14日（火）午前

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

14日（火）17:10～17:50

表彰式（博士研究奨励賞，年間優秀論文賞）

14日（火）18:00～

環境省：環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術

報告講演会 14日（火）14:30～15:20

研究委員会セッション

14日（火）午前（9:00～12:30）

環境汚染物質分析へのMS技術の応用

（MS技術研究委員会）

いま、改めて流域の物質動態を理解する

（流域物質動態とノンポイントソース研究委員会）

陸から海へ：淡水・汽水・海水域の独自性と共通性

（汽水域研究委員会）

14日（火）午後（13:30～17:00）

アジア地域などの環境再生保全のためのSDGsを踏ま

えた技法展開の現状と展望（生物膜法研究委員会）

海産・汽水生物を用いたバイオアッセイによる安全性

評価（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）

膜のリアリティー～あの膜は今～

（膜を利用した水処理技術研究委員会）

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術

（電気化学的技術研究委員会）

熱帯亜熱帯地域の地域資源の利活用と水環境

（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）

水源水質に応じた浄水処理技術と給配水水質の管理

（将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会）

マイクロプラスチック研究の最新の知見

（マイクロプラスチック研究委員会）

15日（水）午前（9:00～12:30）

嫌気性技術の分野における課題解決に向けた研究開発

と現場での取組（嫌気性微生物処理研究委員会）

コロナを機に今、再び水環境を考えるーコロナがあぶ

り出したものー（身近な生活環境研究委員会）

世界の「微生物生態と水環境工学研究」へ

（微生物生態と水環境工学研究委員会）

下水疫学アプローチによる感染症流行モニタリングの

最前線（水中の健康関連微生物研究委員会）

流域から湿地・沿岸域の動態・保全・再生と東京湾の

いま（湿地・沿岸域研究委員会）

産業排水の処理・回収技術の最新動向

（産業排水の処理・回収技術研究委員会）

次世代農業と水環境の関わりを考える

（農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

地域からの発信～新しい水環境指標を考える～

（地域水環境行政研究委員会）

／共催：全国環境研協議会

15日（水）午後（13:30～17:00）

紫外線水処理の可能性

（紫外線を利用した水処理技術研究委員会）

3. 参加申し込み案内

事前の参加申し込み（予約申し込み）が必要です。オンライン開催のため、当日申込はありません。研究発表を申し込まれた方は、必ず参加申し込みが必要です。なお、学生会員とは、申込時点で本会の本年度の学生会員として登録を済ませた方を意味します。

事前に申し込みをおこなってご入金を確認できた方がみに参加できます。

なお、キャンセルポリシーについては https://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdf をご覧ください。

(1) シンポジウム参加費（24回シンポジウム特別価格）*

	ダウンロード版のみ	冊子版有り
本 会 会 員	3,500 円	4,500 円
学 生 会 員	2,000 円	3,000 円
非 会 員	14,000 円	15,000 円
学生非会員	5,000 円	6,000 円

*今回は特別料金を設定しています。講演集はダウンロード版として提供します。「冊子版有り」で申し込まれた方には、開催後に冊子版をお送りします。

(2) 申込方法と期限

下記のWEBページにある「シンポジウム 参加申込」からお申し込みください。申込期限は9月9日（木）です。また、参加費は9月10日（金）までに指定口座に振り込んでください。ご入金が確認できないと参加できません。なお、お振込後、入金が確認できるまで銀行振込で1～3日、郵便振替（ゆうちょ銀行への振込を含む）で2～8日かかることがありますので、余裕をもってご送金ください。 <https://www.jswe.or.jp/event/symposium/>

WEBからの申し込みができない方は、下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

(3) 振込先

振込人名義に申込番号も記載してください。名義が異なる場合や申込番号が記載できない場合は、必ず別途ご連絡をお願いします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行市ヶ谷支店

普通預金 口座番号：4948527

名義：シャ）ニホンミズカンキョウガッカイ

郵便振替※：00180-5-564127

加入者名：（公社）日本水環境学会

※通信欄に申込番号を記載してください。

(4) 参加証／講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。また、そのメールにオンライン開催およびダウンロード版講演集に関する情報へのアクセス方法が記載されています。

4. 連絡・問合せ先

(公社) 日本水環境学会 シンポジウム係
東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
TEL 03-3632-5351 FAX 03-3632-5352
E-mail: nenkai@jswe.or.jp

第 26 回 地下水・土壌汚染と その防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する国内最大規模の研究発表会として、地下水・土壌汚染問題の様々な課題について研究成果や事例発表、意見交換、技術交流、情報収集、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、150 件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々のご参加をいただいております。

このたび第 26 回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。多くの皆様に、ご発表やご参加を頂きますようご案内申し上げます。

主 催 地盤工学会、日本地下水学会、日本水環境学会、
廃棄物資源循環学会、土壌環境センター

期 日 2021 年 6 月 24 日 (木) ~ 6 月 25 日 (金)

場 所 オンライン

内 容 (予定) 口頭発表とポスター発表とを組み合わせ
た研究発表、特別講演、企業展示

詳細 URL <http://gepc.or.jp/kenkyu/26th/>

問い合わせ先

第 26 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究
集会事務局 担当: 木下 (kinoshita@gepc.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KS ビル 3 階
(一社) 土壌環境センター内

Tel: 03-5215-5955 Fax: 03-5215-5954

※内容は変更になることもありますので、土壌環境セ
ンターの HP で必ずご確認ください。

IWA 関連行事

World Water Congress & Exhibition 2022 Copenhagen

主 催 The International Water Association (IWA)

期 日 2022 年 9 月 11 日 (日) ~ 15 日 (木)

場 所 デンマーク、コペンハーゲン

詳細 URL <https://www.worldwatercongress.org>

他学会関連行事

第 45 回基礎化学工学演習講座

主 催 化学工学会東海支部

協 賛 日本水環境学会他

期 日 第 1 クール 2021 年 6 月 14 日 (月) ~ 16 日 (水)
第 2 クール 2021 年 7 月 1 日 (木), 2 日 (金)
第 3 クール 2021 年 8 月 2 日 (月), 3 日 (火),
6 日 (金), 18 日 (水) ~ 20 日 (金),
23 日 (月), 25 日 (水), 27 日 (金)

場 所 オンライン開催

プログラム/参加申込締切/申し込み方法

詳細 URL をご覧ください。

詳細 URL <https://scej-tokai.org/>

問い合わせ先 (公社) 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大
学生命・応用化学科化学工学研究室内

Tel: 080-4525-3070 URL: <https://scej-tokai.org/>

おしらせ

年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成 (クリタ賞国際会議発表助成) 2021 年度候補者の募集

過去の年会優秀発表賞 (クリタ賞) 受賞者が研究者・
技術者として一層の飛躍をするために、本学会または
International Water Association が主催または共催する
国際会議 (日本国内での開催会議も含む) への参加・発
表を助成します。

助成が認められた発表予定の国際会議が COVID-19 の
影響により延期になった場合は、対象期間後の開催にな
っても助成資格が維持されます。

応募資格 本会個人正会員または学生会員 (2021 年度)
で以下の条件を満たす者

- 1) 大学院修士課程または博士前期課程を修了した過去の
クリタ賞受賞者
- 2) 年齢が 40 歳未満 (2021 年 4 月 1 日時点)
- 3) 大学院、教育研究機関、公的機関で実施した研究成
果を研究実施機関の在籍者の立場で発表すること

助成内容 会議での参加・発表にともなう費用の一部支
援 (旅費のみでなく、参加費、Proceedings
や Abstract の英文校閲にかかる費用等も含む
ことができます)

助成実績 (1 件当たり): 12.5 ~ 17.5 万円

対象となる国際会議の期間

2021 年 7 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日 (COVID-19
の影響を考慮し期間を変更することがあります)

応募方法 助成を希望する本人が、次項の書類を提出す
ること

提出書類（書式は自由）

- 応募者の氏名、所属、住所、Tel., Fax., E-mail
 - 大学卒業後の研究・業務略歴
 - 国際会議論文募集の内容が判る資料
 - 国際会議発表の申込書（申し込み時点の口頭、ポスターなど発表形式が記されていること、（案）でも可）
 - 発表予定の研究内容を記した書類（日本語でも可、発表申込時に提出する Extended abstract など）
 - 発表採択通知（任意）
 - クリタ賞を受賞した研究内容との関連、参加を希望する国際会議における抱負、会議参加の必要性、会議参加で得られる情報や経験を今後の業務にどのように活用する計画であるのか等を説明する文章（400字、A4一枚程度）
 - 過去3年の研究等の業績（下記項目に分類して）
 - ① IWA 関連雑誌論文
 - ② JSWE 雑誌論文
 - ③ それ以外の雑誌論文
 - ④ IWA 関連国際会議論文
 - ⑤ それ以外の国際会議論文
 - ⑥ 水環年会と水環シンポジウム発表
 - ⑦ それ以外の発表
 - 助成を希望する費目とおよその見積もり額を示した文書
- 応募期日** 2021年6月30日（水）（COVID-19の影響を考慮し期間を変更することがあります）
- 結果通知等** E-mailにより採否を通知予定です。授与式などはありません。ただし、助成が認められても、当該発表が採択されなかった場合には、その助成の資格を失います。（次年度以降に別の発表について応募することは可能です）

問い合わせ・書類提出先

（公社）日本水環境学会 クリタ賞国際会議発表助成係
Tel：03-3632-5351
E-mail：kubota@jswe.or.jp（@は半角に変更）

第16回 日本水環境学会関西支部 関西水環境賞、奨励賞、社会・文化賞 推薦のお願い

（公社）日本水環境学会関西支部では、下記の賞を設け、水環境に関する優れた成果や貢献、活動等を表彰します。適切な候補者・団体等をご推薦ください。

関西水環境賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、優れた成果や顕著な貢献をなしたと認められる支部個人正会員、または団体正会員およびこれに所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。
2. 応募書類：以下の書類を提出ください。
 - a. 推薦書：関西支部ホームページ
(<http://www.jswe-kansai.com/>)より所定の推薦書

様式をダウンロードし、水環境に関する研究（様式A）、水環境技術の開発（様式B）、水環境の創造保全に関する実務（様式C）の中から該当する業績を1種類選択し、必要事項を記載。A4用紙2ページで提出。

- b. 関連資料：論文、総説、ノート、報告、発表要旨、雑誌、書籍、特許、カタログ等
3. 提出方法：推薦書と関連資料は原則PDF化し、元のXLSファイルと共にCDに書き込むと同時に各1部印刷し、PDF化し難い資料等1部とともに郵送。
 4. 締め切り：2021年8月27日（金）＜必着＞
 5. 提出先：近畿大学
薬学部 医療薬学科 川崎 直人（選考委員長）
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
E-mail：kawasaki@phar.kindai.ac.jp

奨励賞

水環境研究、水環境技術の開発、あるいは水環境の保全・創造に係る実務に関して、独創的・特徴的な成果や貢献を有し、将来を期待される当該年度4月1日の時点で45歳以下の支部個人正会員、または団体正会員に所属する個人に授与。

1. 応募方法・資格：原則他薦、2021年4月1日時点で45歳以下。
2. 応募書類・提出方法・締め切り・提出先：関西水環境賞と同じ。
3. 受付後、被推薦者には別途調書を提出していただきます。

社会・文化賞

関西地域で水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著な団体または個人に授与。

1. 応募方法・資格：自薦または他薦、年齢等制限なし。本会の会員・非会員を問わない。
2. 応募書類：以下の書類を提出ください。
 - a. 推薦書：関西水環境賞と同じ。ただしA4用紙1ページで提出。
 - b. 関連資料：対象の社会・文化活動がわかる資料等
3. 提出方法：関西水環境賞と同じ。
4. 締め切り：2021年8月27日（金）＜必着＞
5. 提出先：（地独）大阪健康安全基盤研究所
森ノ宮センター 新矢 将尚（選考委員長）
〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-69
E-mail：symnk3@gmail.com

受賞講演と水環境文化賞への推薦について

各受賞者には関西支部総会（本年12月上旬～中旬を予定）において受賞講演をお願いいたします。また、社会・文化賞に推薦された団体は、本会の水環境文化賞に支部から推薦させていただく場合があります。

第43巻(A)12号特集「COVID-19 タスク フォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」 別刷り配布のお知らせ

この度、第43巻(A)12号の特集企画編「COVID-19
タスクフォース設立と水環境分野におけるコロナ禍対策」
の別刷を作成しました。本企画の趣旨を踏まえて、さら
に広くご活用いただくために、教育、公益的な目的で
ご利用を希望する会員へ別刷を無償配布いたします。別
刷をご希望の方は①会員番号 ②所属 ③氏名 ④送付先住
所 ⑤使用目的(具体的に) ⑥希望部数を明記のうえ、日
本水環境学会事務局まで電子メール(kikaku@jswe.
or.jp)にてお申込みください。先着順に受け付けます。
なお、特集企画編「地環研の躍動」(第43巻(A)2号)、
「水環境分野で働く若手たち」(第41巻(A)3号)、「水
環境分野で働く女性たち」(第36巻(A)10号)にも残
部(若干数)がありますので、ご希望があればご連絡く
ださい。

JST 2021年度「STI for SDGs」アワード募集

科学技術振興機構(JST)では、科学技術イノベーシ
ョン(Science, Technology and Innovation: STI)を用
いて社会課題を解決する優れた取り組みを対象とした表
彰制度「STI for SDGs」アワードの2021年度募集を
行っております。詳しくは詳細URLをご覧ください。

主 催 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

募集締切 2021年6月30日(水)

詳細URL <https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/>

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

「科学と社会」推進部

「STI for SDGs」アワード事務局

E-mail: sdgs-award@jst.go.jp

2023年以降開催 藤原セミナー募集

藤原科学財団は、科学技術の振興に寄与することを目
的として、2023年以降に「藤原セミナー」の開催を希望
する研究者から、下記募集要項に基づいて申請を受け付
けます。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤
の研究者

開催件数 2件以内

開催費用援助額 1件につき12,000千円以内

*セミナーの要件など詳細は下記HPをご参照ください。

申請方法 「藤原セミナー開催申請書」(1通)を、所属
組織長を経由して当財団に提出すること。

申請書提出締切 2021年7月31日(土) 必着

問い合わせ先 (公財) 藤原科学財団

〒104-0061 東京都中央区銀座3-7-12

Tel: 03-3561-7736 Fax: 03-3561-7860

URL: <http://www.fujizai.or.jp>

島津化学技術振興財団

2021年度島津賞／島津奨励賞の候補者推薦 および研究開発助成の募集について

募集締切 各募集とも

2021年7月31日(土)(消印有効)

応募詳細 詳細URLをご参照ください。

詳細URL <https://www.shimadzu.co.jp/ssf/>

問い合わせ先

(公財) 島津化学技術振興財団

〒604-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地

Tel: 075-823-3240 Fax: 075-823-3241

E-mail: ssf@zaidan.shimadzu.co.jp

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム
(J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>